

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2013-15681(P2013-15681A)

【公開日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2011-148463(P2011-148463)

【国際特許分類】

G 02 B 21/00 (2006.01)

G 01 N 21/64 (2006.01)

【F I】

G 02 B 21/00

G 01 N 21/64 E

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月4日(2014.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

標本を照明する照明光を射出する光源と、

前記標本と前記光源の間の前記標本と共に面に配置され、前記光源側に平面からなる反射面を有する、開口が形成された回転部材と、

前記回転部材の前記反射面で反射した照明光を反射して前記回転部材へ導くように配置された反射部材と、を含む

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項2】

請求項1に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、さらに、

前記光源と前記回転部材との間で、且つ、前記反射部材と前記回転部材との間の光路上に配置された集光レンズを含む

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項3】

請求項2に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、

前記光源は、前記集光レンズの光軸に対して偏心した位置に配置される

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項4】

請求項3に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、

前記反射部材は、

前記回転部材の前記反射面で反射した照明光を反射する平面からなる反射面を有し、

前記反射部材の前記反射面の法線が前記反射部材に入射する照明光に対して傾斜するように配置される

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項5】

請求項3に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、

前記反射部材は、

前記回転部材の前記反射面で反射した照明光を反射する平面からなる反射面を有し、

前記反射部材の前記反射面の法線が前記集光レンズの光軸に対して傾斜するように配置される

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項 6】

請求項 3 に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、

前記反射部材は、曲面からなる反射面を有する

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項 7】

請求項 3 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、さらに、

前記集光レンズと前記光源との間に配置され、入射光を波長に応じて反射または透過させる光路分割素子を含む

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項 8】

請求項 3 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、

前記回転部材は、前記集光レンズの前側焦点面に配置され、

前記反射部材は、前記集光レンズの後側焦点面に配置される

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、

前記回転部材の前記反射面の法線は、前記集光レンズの光軸に対して傾斜している

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【請求項 10】

請求項 3 乃至請求項 9 のいずれか 1 項に記載のディスク走査型共焦点観察装置において、

前記反射部材を複数含む

ことを特徴とするディスク走査型共焦点観察装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の第 1 の態様は、標本を照明する照明光を射出する光源と、前記標本と前記光源の間の前記標本と共に面に配置され、前記光源側に平面からなる反射面を有する、開口が形成された回転部材と、前記回転部材の前記反射面で反射した照明光を反射して前記回転部材へ導くように配置された反射部材と、を含むディスク走査型共焦点観察装置を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0016】

本発明の第9の態様は、第1の態様乃至第8の態様のいずれか1つに記載のディスク走査型共焦点観察装置において、前記回転部材の前記反射面の法線は、前記集光レンズの光軸に対して傾斜しているディスク走査型共焦点観察装置を提供する。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0019】

本発明の第10の態様は、第3の態様乃至第9の態様のいずれか1つに記載のディスク走査型共焦点観察装置において、前記反射部材を複数含むディスク走査型共焦点観察装置を提供する。